



日 時	平成 23 年 11 月 19 日(土) 9 時 30 分～12 時
場 所	新赤坂事務所：港区赤坂 2-10-17 石原ビル 2F
出席者	出席：川村、青木、金城、木村、平山、竹政、岩下、日野 (監事) Skype：阪井、正岡、神野、西川
欠席者	土屋 (各議案への書面による表決済み) / 委任：無し / 監事 丹下
議 題	<b>特別事項</b>  <b>審議事項</b> 1 書記・承認者指名 (会長) 2 10 月度議事録確認 (総務部会) 3 会員入会承認・退会確認 (会員部会) 4 震災復興支援：議論の整理と今後の進め方について (総務部会) 5 オンライン入会申込時の「細則」確認ルールについて (会員部会) 6 理事会運営ルール確認 (理事会の議論をスムーズにするために) (総務部会) 7 “正しい CPD” とは？ (副会長) 8 横須賀 PE との交流維持について (渉外部会) 9 「出前 PE セミナ」の展開について (渉外部会) 10 11 12  <b>報告事項</b> 1 PE/FE 試験関連報告 (会員部会) 2 セミナーweb 配信について (広報部会) 3 東京年末パーティーの進捗 (企画部会) 4 業務委託契約 (事務局長) 5 CPD セミナー報告 (関東) (教育部会) 6 名古屋 CPD セミナー (企画部会) 7 BP タスクフォースの報告 (書面) (会長) 8 技術士の略称について (企画部会)
添付資料	添付 1. 201111_shinsai_shien.doc 添付 2. JSPE EATH11102110.doc 「出前セミナー案内」 添付 3. MOM20111112.doc 「BP Horizon 事故タスク・フォース」



議事内容	アクション
<p>● <b>審議事項</b></p> <p>1. 書記・承認者指名 (敬称略) 議長：川村、 書記：岩下、 議事録承認者：川村、金城、平山</p> <p>2. 10月度議事録確認 報告事項9 アドホックコミティーは予定通り10月末開始。 報告事項11 PMI関西地区セミナーは12月3日。発表者は阪井さん。</p> <p>3. 会員入会承認・退会確認 新入会員 AF-0064 陳 浩 様 資格変更 PE-0202 佐久間 啓臣 様 (旧PEN-0055) ワシントン州 退会者 なし 資格喪失 なし 会員数 10月度理事会後 PE 159名 準PE 39名 FE 128名 AF 31名 ST 2名 合計359名 11月度理事会後 PE 160名 準PE 38名 FE 128名 AF 32名 ST 2名 合計360名</p> <p>4. 震災復興支援 議論の整理と今後の進め方について ①義援金寄付状況 → 振込みは会計部会長が近々実施予定 ②議論の経緯レビュー ③寄付先選定作業のレビュー ④以下の4案を採決 1. 不特定団体への寄付(日赤支援金等へ寄付) 2-1. 国立大復興研究機関リストからの寄付候補絞込み作業を進める 2-2. 独自ルートからの支援先選定 3. JSPE としての活動(調査、活動)を検討 → 震災関連の講演会企画、震災復興支援 NGO 等の連携等が提案される</p> <p>第一回投票 5 : 2 : 0 : 4 (棄権1) 第二回投票 7 : - : - : 5 従って1の日本赤十字への「支援金」に決定。(会員個人からの日赤「義援金」とあわせ近々振り込みを実施する) なお3.として提案あった、震災関連セミナー開催及びNGOとの連携案は従来事業の延長線上で企画・実施を検討する。</p> <p>5. オンライン入会申込時の「細則」確認ルールについて アジェンダではHP改定前に近い運用から順に 1). 入会時には「定款」と「細則」の両方を読むべき 2). 入会時には「定款」のみ読めば良い 3). 入会時には「定款」と「会費について」を読むべき 4). その他(もし有れば) で採決したい、としていたが、これまでの経緯を確認後、全員一致で3に決定。ウェブサイト上のリンクの設定は広報部会にて実施。</p>	<p>(議長)</p> <p>(総務部会)</p> <p>(会員部会)</p> <p>(総務部会)</p> <p>(会員部会)</p>



議事内容	アクション
<p>6. 理事会運営ルール確認 (理事会の議論をスムーズにするために)</p> <p>①議題提出のリミットを理事会開催の5日前とする            ②提案者は審議事項や報告要点を議案書に必ず記載する            ③FIXした議案書を総務部会が事前にメールで通知する            ④議題の事前準備：時間がかかりそうな議題は、事前にメールで議論            ⑤欠席者の議決権：予めメールにて表決するかまたは委任者を明確にする            ⑥理事会後の議事録の作成：理事会後1週間を目処</p> <p>「定款に従う」だけのことなので特に別文書等にはしない。また、定款第38条2によれば理事会議事録への署名は議長+署名人2人なので、この議事録からそのルールに従う。</p>	(総務部会)
<p>7. “正しいCPD”とは？</p> <p>ワシントン州でのCPD新設予定、オレゴン州でのCPD規定変更など動きあるが、最近日本の技術士会もCPDの基準を厳格にして、資格自身の価値を高めていこうという動きが見られる<sup>※1</sup>。今後NCEESのCPC Policy<sup>※2</sup>やオレゴン州ボードの規定、あるいはPMI PMP資格のPDU発行・登録基準なども参考にJSPEとしてのCPD供給基準を明確化する方向が望まれるとの意見が多く、担当を決めるわけではないが、具体的な検討を始めることとした。</p> <p>また、JSPEウェブ上で各会員のCPDを管理し、各種ハードコピーをかき集めなくてもセミナーの管理番号だけで証明できるようにすることが会員サービス向上の点でも有用でないかとのアイディアも出た。</p> <p>※1 日本の技術士会では「CPD認定会員」という区分が設けられ年間50時間のCPDを要求している。(韓国も同様の模様)。技術士会の規定については下記参照。P.10にCPD時間に関する記述あり。  <a href="http://www.engineer.or.jp/cmtee/kensyuu/110401guideline.pdf">http://www.engineer.or.jp/cmtee/kensyuu/110401guideline.pdf</a></p> <p>※2 NCEESのCPC Policy <a href="http://www.ncees.org/Documents/Public/cpc_guidelines.pdf">www.ncees.org/Documents/Public/cpc_guidelines.pdf</a></p>	(副会長)
<p>8. 横須賀PEとの交流維持について</p> <p>昨年3月の空母見学会以来、横須賀PEとの交流が途絶えている。米軍関係者のセキュリティレベルが上がっているせいかコンタクト自体が困難になっているので当面様子を見る。当初横須賀PEとの交流目的で計画していた川崎地区発電設備の見学については、彼らとの交流とは切り離して一般の見学行事などとすべく今後は教育部会にて引き継ぐ。</p>	(渉外部会)
<p>9. 「出前PEセミナー」の展開について</p> <p>JPEC有志と連携活動中の「PE登録促進委員会」成果活動として「出前PEセミナー」をホームページ上で一般宣伝していきたいことが提案される。これに対し、理事・監事は副業禁止規定を持つ企業勤務者が多いため、講師の謝礼目的あるいはJSPEの事業目的と受け取られないよう十分注意すべきとの指摘があり。その点を考慮の上ホームページ掲載を行うこととした。</p> <p>またJSPEと各理事・監事所属企業との間での利益相反が生じないよう、「理事就任承認のご連絡」などをJSPEから発行できることが確認された。</p>	(渉外部会)
<p>● <b>報告事項</b></p> <p>1. PE/FE試験関連報告</p> <p>10月30日(日)に東京理科大九段にて試験開催。JPECからの特段のフィードバックは無いため、成功裡に完了したものと思われる。            入会案内パフレットは用意した400枚の約半数を配布。配布の方法については課題あ</p>	(会員部会)



議事内容	アクション
<p>り。次回の試験までに検討要。 サウジアラビアの PE・FE 試験について中東駐在中の神野理事より見学報告あり。</p> <p>2. セミナーweb 配信について 11/19 17:30 の NSPE 総会参加報告セミナーを対象に手法確立を目的とした理事・監事向けテスト配信を実施。</p> <p><u>Post Meeting Memo</u> 大きな問題なく完了。受信した理事（5名）からのフィードバック中。 ライブ公開したアドレスで録画を理事・監事に公開中。</p>	<p>(広報部会)</p>
<p>3. 東京年末パーティーの進捗 (1) 場所確保済み。スター貸し会議室赤坂。15:00-19:00。払い込み済み。 (2) 第1部 講師確保済み。時間変更と講演内容を依頼済み。 (3) 第2部 催し物の募集を開始。(11/7) (4) 会員へのご案内未発送。</p> <p><u>Post Meeting Memo</u> 会員への案内済み(11月20日)</p>	<p>(企画部会)</p>
<p>4. 業務委託契約 事務局業務委託につき、鹿野憲子さん、神野いづみさんと契約を結んだ。委託内容は先にメールで理事間で合意したとおり。 報酬については、ボランティアとして協力いただくので委託料としての支払いはしない、必要経費は協議の上、その都度支払うとした。 FFFTP に控え (PDF) をアップロードし、原紙は総務にて保管する。</p>	<p>(事務局長)</p>
<p>5. CPD セミナー報告 11月12日(土) 講師: 植村 PE (前会長) 演題: “日本企業のアジア進出における注意点～インフラ開発を中心に～” 参加者: 14名 であった。 地球温暖化により北極海航路が開けると、シンガポールの中継基地機能が激減するかもなどの興味有る話が聞けた。</p>	<p>(教育部会)</p>
<p>6. 名古屋 CPD セミナ 10月29日開催。講師は正岡さんと村瀬さん。PE 3名、FE 1名参加。次は2月ごろやりたい。</p>	<p>(企画部会)</p>
<p>7. BPタスクフォース報告 11月12日(土)に「BP Horizon 事故とその影響に関する調査タスクフォース」の第一回打合せを実施した旨、打合せメモと一緒にメールにて報告あり(11月16日)。</p>	<p>(会長)</p>
<p>8. 技術士の略称について 議題 7. 項に関連して話題提供あり。日本の技術士の英文呼称は本来「P. E. Jp」とすべきところ※3、「PE」としている場合も散見される。JSPE として行動を起こすべきではないかとの意見も出たが、呼称に「PE」を使用している例は韓国やシンガポールなど他国の技術士にも見られるため、NSPE と連携して General な注意勧告のような形に持っていくことを検討することとした。 ※3 <a href="http://www.engineer.or.jp/kaiin/kettei/english.html">http://www.engineer.or.jp/kaiin/kettei/english.html</a></p> <p>・次回 12月17日(土)</p>	<p>(企画部会)</p>



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会 (日本PE協会)

承認	川村 武也	
承認	金城 隆	
承認	平山 剛士	
記録作成	岩下 哲	